

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナイストライ			
○保護者評価実施期間	2026年 8月 13日 ～ 2026年 8月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026年 8月 13日 ～ 2026年 8月 26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 8月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎朝の振り返りミーティングを通じ、児童個々の状態に応じたきめ細やかな支援方針の共有と、迅速な環境改善を図る体制が整っている点。	日々の行動記録や成長を詳細に議事録へ記録し、問題発生時には即座にルールの可視化や環境調整を実施しています。	蓄積した記録のデータ分析を進め、児童個々の発達段階やスモールステップに応じたアプローチの精度をさらに高めていきます。
2	ARゲームやPC学習、児童館等の外部施設活用を通じ、児童の運動機能向上と挑戦意欲を引き出す多様な活動を提供している点。	ルールのもとで適切な選択肢を用意し、成功体験を積ませることで、自発的な片付けや他児を応援する肯定的な変化を引き出しています。	タイピングやプログラミング等、個々の特性や得意領域をさらに伸ばせる発展的教材を整備し、継続的な成長を促します。
3	学校や保護者との密な連絡・情報共有体制を築き、環境の変化や登校不安を抱える児童に対しても迅速に連携支援ができる点。	お迎え時の動線確認や保護者との連携電話など、児童が安心して過ごせる環境を整え、信頼関係の構築に努めています。	学校・家庭との情報共有を一層深め、将来の移行支援も見据えた一貫性のあるサポート体制を継続的に構築していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	デジタル機器や人気遊具の独占、環境刺激等に伴う大声・他児へのしつこい関わりなど、行動面での課題が生じている点。	児童数の増加に伴う刺激の増加や、感情のコントロール・時間の切り替えにおける発達上の難しさが要因と考えられます。	利用時間制限やタイマーの導入、視覚的ルールの提示を行い、スムーズな交代と代替活動への移行を支援する取り組みを強めます。
2	職員の資質向上に向けた体系的な研修機会の確保や、第三者による外部評価の実施が十分にできていない点。	日々の直接支援業務を優先するあまり、事業所全体での計画的な研修受講や外部評価を受ける仕組みが未整備であったことです。	法人内・外部研修への参画計画を策定し、スタッフの専門性を高めるとともに、第三者評価の受審に向けた準備を進めます。
3	保護者同士が交流する機会や、地域住民・他機関と連携したイベント等への参画機会が不足している点。	近隣住民への騒音配慮や安全管理を最優先にしてきた結果、外部との交流や大規模な行事の開催に慎重であったためです。	近隣配慮を徹底しつつ、保護者向け座談会の開催や地域の児童センター等との連携機会を順次設けていきます。